

令和7年度 総合型選抜 学生募集要項

人間発達文化学類

(芸術・表現コース, スポーツ健康科学コース)

行政政策学類 夜間主

経済経営学類

共生システム理工学類

食農学類

※本学におけるすべての入試はインターネット出願です。
インターネット出願登録だけでは出願手続は完了しません。
(出願書類一式を簡易書留速達で郵送もしくは持参することで、
すべての出願手続が完了となります。)



〒960-1296
福島市金谷川1番地
☎024-548-8064 (入試課)
<https://www.fukushima-u.ac.jp/>

福島大学
スマートフォン対応サイト



目 次

I. アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
II. 募集人員等	7
III. 出願資格	8
IV. 出願手続	13
1. 出願方法の確認	
2. 事前準備	
3. インターネット出願登録期間	
4. 検定料の支払い	
5. 出願期間	
6. 出願書類提出先	
7. 出願書類等	
8. 出願書類作成上の注意事項	
9. 受験票の印刷について	
10. 出願状況についての情報提供	
V. 障がい等のある入学志願者の事前相談	18
VI. 選抜方法	19
VII. 合格者発表	29
VIII. 入学手続	29
1. 入学手続について	
2. 入学辞退者の取扱い	
3. 入学時の大学への納入金	
4. 入学料・授業料の減免について	
IX. 不正行為の禁止について	30
X. 入試情報の公開（開示）について	31
1. 試験問題等の公開について	
2. 入学試験個人成績等の開示について	
XI. 入学志願者の個人情報保護について	31
XII. 東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において 被災された方に対する検定料の免除について	32
○ 福島大学案内図	本要項末

令和7年度福島大学入学者選抜方法等の見直しについて

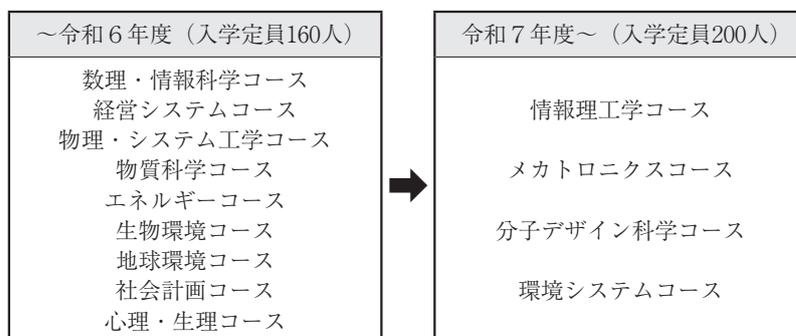
■主なポイント（全学類）

全学類	
○平成30年3月告示高等学校学習指導要領に対応した大学入学共通テストの利用教科・科目、配点等 ○大学入学共通テストの利用教科・科目の「情報Ⅰ」の点数化（配点） ○旧教育課程履修者等に対する経過措置	
人間発達文化学類	経済経営学類
○一般選抜個別学力検査等における教科科目の出題範囲等 ○一般選抜前期日程における芸術・表現コース、およびスポーツ健康科学コースの大学入学共通テスト科目（配点）および個別学力検査等の配点 ○総合型選抜「芸術・表現コース」の実技検査の内容変更 ○学校推薦型選抜における大学入学共通テストの教科・科目、配点等	○総合型選抜における大学入学共通テストの指定する「教科グループ」
	共生システム理工学類
	○コース再編及び入学定員の増員 ○一般選抜後期日程個別学力検査科目の変更 ○学校推薦型選抜の募集人員、出願資格、推薦要件、選抜方法の変更 ○総合型選抜の募集人員、出願資格、選抜方法の変更 ・理系教育女性人材育成枠の設定
行政政策学類	食農学類
○一般選抜前期日程・後期日程における個別学力検査等の変更	○一般選抜後期日程個別学力検査科目の変更 ・ペーパーインタビューの導入

■コース再編及び入学定員の増員（共生システム理工学類）

共生システム理工学類では、「人-産業-環境」に関するシステム科学を「共生」の観点から系統的に学修する「理・工」教育を行い、21世紀の諸課題に対し貢献できる人材養成を推し進めるために、令和7年度から4つのコース（情報理工学、メカトロニクス、分子デザイン科学、環境システム）に再編します。

また、社会的ニーズ及び背景を踏まえ、高度情報専門人材の養成を強化するために情報領域の教育を充実させ、入学定員を現在の160人から200人へ増員します。



■総合型選抜における理系教育女性人材育成枠の設定（共生システム理工学類）

共生システム理工学類では、令和7年度入学者選抜（令和6年度実施）から、総合型選抜において女性を対象とする「理系教育女性人材育成枠」を新たに設定します。総合型選抜入試の募集人員（32人）の内訳は、「理系教育女性人材育成枠」が8人、「一般枠」が24人です。

多様な理工系分野で活躍できる女性人材の育成を目的として、本学類が求める資質や能力を有する人材を選抜しやすい総合型選抜において「理系教育女性人材育成枠」を設定して女子の入学比率を高めることで、多方面で活躍できるロールモデルとなる理系に強い女性人材を継続的に輩出します。

理系教育女性人材育成枠に応募する女子受験生には、高いコミュニケーション能力をもち、様々な場面においてリーダーシップを発揮できる人材を求めます。そして、本学入学後に様々な分野に興味をもち、それらに向かって継続的に挑戦し続けてほしいと願っています。このような活動を通して得られる自身の実体験を踏まえて、科学の「おもしろさ」や「大切さ」を社会や子供たちに丁寧かつわかりやすく伝えることができる人材を育成したいと考えます。

こうした資質と能力を備えた女子学生を増やすことができれば、「解のない問い」に対して積極果敢に取り組む雰囲気をこれまで以上に醸成することが可能となり、ひいては共生システム理工学類全体の教育・研究活動の底上げとレベルアップが期待されます。

※理系教育女性人材育成枠の詳細は、本学ウェブサイトの「令和7年度福島大学入学者選抜方法等の見直しについて」及び令和7年度総合型選抜学生募集要項をご覧ください。

■ペーパーインタビューの導入（食農学類）

食農学類では、令和7年度入学者選抜（令和6年度実施）から、「一般選抜（後期日程）」においてペーパーインタビューを導入します。ペーパーインタビューは、面接による試験ではなく、紙面に記載された質問を読んで回答を記述する筆記型の試験（一部適性検査含む）です。主体性・多様性・協働性を多面的・総合的に評価するため、字数制限付の記述試験を行い、志望理由や大学入学後の学修への意欲等を問います。また、文章や図表を読みとって説明する力や、提示された英語の読解能力を問います。ペーパーインタビューを導入した目的は、多様な入学者選抜方法を取り入れて、受験生の能力・適性や学修に対する態度など、多角的・総合的に人物を評価することにあります。

※ペーパーインタビューのサンプル問題は、本学ウェブサイトの「令和7年度福島大学入学者選抜方法等の見直しについて」をご覧ください。

I. アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

福島大学の教育目標

福島大学は、正規課程および課外活動等のあらゆる機会を捉えて、自ら学び、主体的な人生設計と職業選択を行うことのできる自立した人間の育成をめざします。

また、東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故からの学びを活かし、「新たな地域社会の創造」に取り組み、人口減少や高齢化、環境・資源・エネルギー問題などの地域および世界の「21世紀的課題」を自分事として捉え、複雑かつ困難な課題に果敢に挑戦する人材の育成を目標に掲げます。

そのために「問題基盤型学習」を教育理念としたカリキュラムを備え、確かな専門知識や技術、実践的なスキル、「解のない問い」に挑む態度などを身につけます。

福島大学の求める学生像（福島大学のアドミッション・ポリシー）

福島大学では、以下の要件を満たす学生を募集します。なお、「求める学生像」の具体的内容は、学類のアドミッション・ポリシー（AP）で示します。

1. 〈福島大学の教育目標〉を理解していること
2. 地域や社会の発展に貢献する志をもつこと
3. そのために、①選択した領域の専門知識、②問題を発見し探究する力、③広い教養と知的関心、④グローバルな視野、⑤主体的に多様な人々と協働する力、を自ら向上させようとする意欲があること
4. 福島大学での学士課程教育を受けるにふさわしい基礎的学力、思考力・表現力・コミュニケーション能力、現実の問題や学問への能動的姿勢を持っていること

入学者選抜の基本方針

福島大学では、すべての学類の入学者選抜において、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（以下、「主体性等）」の「学力の3要素」を多面的・総合的に評価します。

学力の要素 評価方法	〈 学 力 の 3 要 素 〉				
	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性等	
	知識・技能	思考力・判断力	表現力	意欲・関心・態度 (主体性)	協働性
大学入学共通テスト, 個別学力検査	○	○			
実技 (実績評価)	○		○		
小論文, 課題論文, 課題レポート	○	○	○		
ペーパーインタビュー	○	○	○	○	○
口頭試問, 面接	○	○	○	○	
集団討論		○	○		○
調査書				○	○
推薦書(学校)	○			○	
自己推薦書, 志願理由書			○	○	

総合型選抜と学校推薦型選抜では、下表に記した方法で、学力の3要素を評価します。

総合型選抜

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性等
人間発達文化学類 (芸術・表現コース)	小論文, 面接, 実技検査		面接
人間発達文化学類 (スポーツ健康科学コース)	実技実績調査書(第1次選抜) 小論文, 面接, 実技実績評価 (第2次選抜)	小論文, 面接	面接
行政政策学類(夜間主)	口頭試問		
経済経営学類	課題レポート(第1次選抜) 大学入学共通テスト (第3次選抜)	課題レポート(第1次選抜)	
		集団討論および面接(第2次選抜)	
共生システム理工学類	志願理由書(第1次選抜)		
	課題レポート, 面接(第2次選抜)		面接(第2次選抜)
食農学類	自己推薦書(第1次選抜), 課題論文(第2次選抜)		面接(第2次選抜)

学校推薦型選抜

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性等
人間発達文化学類	大学入学共通テスト, 面接		面接
行政政策学類	調査書(評点), 小論文	小論文, 面接	面接
経済経営学類(A推薦)	調査書(評点), 語学資格・検定基準	小論文, 面接	面接
経済経営学類(B推薦)	調査書(評点), 簿記検定試験の合格	小論文, 面接	面接
共生システム理工学類	大学入学共通テスト, 面接		面接

人文社会学群

〔人間発達文化学類〕

1. 人間発達文化学類の教育目標と求める学生像

人間発達文化学類では、生涯にわたる発達への支援や、人間の発達を支える社会・文化への支援を通じて、学校はもちろんのこと、行政や企業、地域社会で活躍することを目指す意欲を持ち、卒業までに次の4つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- ・人間の発達を支援する教育および文化についての専門知識や技術を習得し活用する力
- ・現代的課題や地域的課題への問題意識をもち、個々の事象を複数の観点から捉える力
- ・人や文化の多様性を理解し、共感的態度をもって価値観や考え方の違いを超えた関係を築く力
- ・学問固有の問いの立て方、ものの見方・考え方を身に付け、それらを活用しつつ社会の改善に向けて探究し表現する力

人間発達文化学類には、教育実践、心理学・幼児教育、特別支援・生活科学、芸術・表現、人文科学、数理自然科学、スポーツ健康科学の7つコースがあり、1年生の前期（第1 Semester）から各コースのいずれかに所属することになります。

2. 入学試験の種類と内容

本学類では、次の入学試験を実施します。

- 〔一般選抜・前期日程〕 募集人員 154 人
- 〔一般選抜・後期日程〕 募集人員 12 人
- 〔総合型選抜〕 募集人員 20 人
- 〔学校推薦型選抜〕 募集人員 74 人

入学試験の内容は、後述の該当部分を参照ください。

3. 入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

各コースで養成する人間発達支援者は、人間に対する理解だけでなく、高校で学んだ人文科学や社会科学、生活科学、数理科学、芸術、スポーツなどの知識・技能を基に新たな知識や技術を身に付けます。

本学類では、以下に挙げる知識・技能・関心を有している学生を求めます。

- (1) 高校時代までの基礎的な学力・実技能力
- (2) 得意分野に関する優れた理解・技能（以下のうち1つ以上）
 - ・得意な教科や領域の意味内容を良く理解している。
 - ・運動・スポーツにおける優れた技能・実績を有している。
 - ・音楽や美術において優れた技量を有している。
- (3) 教育・人間・文化・社会への問題意識、および人間発達支援に対する強い意志

〔行政政策学類〕

1. 行政政策学類の教育目標と求める学生像

行政政策学類では、21世紀の地域社会が直面している諸課題について、広く学際的な観点から学び、より暮らしやすい健康で文化的な地域社会を作り出すために、卒業までに次の5つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。特に夜間主は、働きながら学ぶ人、様々な社会経験をもとに学びたいと考える人を対象とします。

- ・法・地域・行政・社会・文化等の研究分野に関する基礎的かつ専門的知識
- ・国・地域・社会における諸問題を自ら発見し、調査・分析する能力
- ・発見し、調査・分析した諸課題につき、解決する能力
- ・学際的な創造力で社会に貢献する応用的能力
- ・修得した知識・考察した結果を発表し、議論する能力

行政政策学類には、「地域政策と法コース」「地域社会と文化コース」の2コースがあり、2年生の前期（第3 Semester）からいずれかのコースに所属することになります。

2. 入学試験の種類と内容

本学類では、次の入学試験を実施します。

- 〔昼間の一般選抜・前期日程〕 募集人員 108 人
入学試験の内容は、後述の該当部分を参照ください。
- 〔昼間の一般選抜・後期日程〕 募集人員 35 人
入学試験の内容は、後述の該当部分を参照ください。
- 〔昼間の学校推薦型選抜〕 募集人員 42 人

調査書（全体の学習成績の状況（評定平均値）4.3以上）、志願理由書（「法・地域・行政・社会・文化に

ついて関心がある者」提出を推薦要件とし、個別学力検査（小論文）と面接によって実施。

〔夜間主の総合型選抜〕 募集人員 20 人
志願理由書に基づいた口頭試問によって実施。

3. 入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

21 世紀の地域社会が直面している諸課題について、広く学際的な観点から学び、より暮らしやすい健康で文化的な地域社会を作り出すための能力を大学において身に付けるために、以下に挙げる基礎的な知識・技能・関心を有している学生を求めます。

- (1) 高校時代までの基礎的な学力（以下のうち1つ以上）
 - ・国語，地歴公民，理科，数学，外国語，情報について，修学に必要な知識を有している。
 - ・上記科目のうち，いずれか3科目について，優れた知識を有している。
- (2) 現代社会や地域の諸課題に関する理解力・思考力・分析統合力・表現力（以下のうち1つ以上）
 - ・読書や論理的な文章を書く習慣に基づく長文の読解力
 - ・政治，経済，社会的な問題などに関心を持ち，深く考察する態度
 - ・意見交換によって解決策を考えだすための発言力あるいは論点整理力

〔経済経営学類〕

1. 経済経営学類の教育目標と求める学生像

経済経営学類では、経済と経営の専門知識を身に付け、現代の経済社会を理解し、課題解決に実践的に取り組む人材を養成することを目標とし、卒業までに次の知識および能力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- ・経済学と経営学の専門知識
- ・エビデンスにもとづいて論理的に思考する力
- ・フィールドを通じて社会の課題に主体的に取り組む力
- ・グローバルに思考し実践に進む力
- ・キャリアを見据え自立し協働する力

経済経営学類には、「経済学コース」「経営学コース」の2コースがあり、2年生の後期（第4セメスター）からいずれかのコースに所属することになります。

2. 入学試験の種類と内容

本学類では、次の入学試験を実施します。

- | | |
|---------------|------------|
| 〔一般選抜・前期日程〕 | 募集人員 114 人 |
| 〔一般選抜・後期日程〕 | 募集人員 40 人 |
| 〔総合型選抜〕 | 募集人員 11 人 |
| 〔学校推薦型選抜・A推薦〕 | 募集人員 25 人 |
| 〔学校推薦型選抜・B推薦〕 | 募集人員 25 人 |
| 〔私費外国人留学生選抜〕 | 募集人員 5 人 |

入学試験の内容は、後述の該当部分を参照ください。

3. 入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

現代社会で起こっている様々な問題を経済・経営の視点でとらえる能力と、社会での実践力を大学において身につけるために、以下に挙げる基礎的な知識・技能・関心を有している学生を求めます。

- (1) 高校時代までの基礎的な学力
：国語，地歴公民，理科，数学，外国語，情報について，修学に必要な知識を有している。
- (2) 読解力・思考力・知識活用力・表現力
- (3) 現代社会で起こっている様々な問題に対する関心・意識と勉学意欲
- (4) 得意分野に関する優れた学力・実績（学校推薦型選抜に該当）
：学校推薦型選抜では，上記の(1)・(2)・(3)に加え，以下の点を評価します。

● 学校推薦型選抜（以下のうち1つ以上）

- A推薦：英語等の外国語に関する優れた知識，ないし関連資格を有している。
- B推薦：簿記に関連する優れた知識，ないし関連資格を有している。

理工学群

〔共生システム理工学類〕

1. 共生システム理工学類の教育目標と求める学生像

共生システム理工学類では、共生システムの名の下に、人・産業・環境が共生する社会を構築するために必要な学問を総合的・実践的に学び、21世紀の社会が抱える諸課題の解決に貢献できる知識・技能と現場応用力を備えた理工系人材を養成することを教育目標に掲げています。共生を科学する新しい教育・研究システムの下で、卒業までに次の4点を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- ・幅広い理工学的基礎知識と確かな専門性
- ・論理的で的確な立案力と決定力
- ・学際的・国際的に実践する力
- ・積極的かつ持続的な貢献意識

共生システム理工学類では、1年生で数学、物理学、化学、生物学、地球科学、プログラミング等の理工系の基礎科目を学ぶとともに、「共生の科学」などの科目で諸課題を学際的・システムの的に捉える力を養います。2年生の前期（第3セメスター）から専門領域名を冠した4つのコース*の中から1つを選択して専門領域を深く学び、3年生の後期（第6セメスター）からは研究室に配属されて、演習や卒業研究を行います。

*4コース：情報理工学コース、メカトロニクスコース、分子デザイン科学コース、環境システムコース

2. 入学試験の種類と内容

本学類では、次の入学試験を実施します。

[一般選抜・前期日程] 募集人員 102人

[一般選抜・後期日程] 募集人員 50人

[総合型選抜・一般枠] 募集人員 24人

[総合型選抜・理系教育女性人材育成枠] 募集人員 8人

[学校推薦型選抜] 募集人員 16人

[私費外国人留学生選抜] 募集人員 若干名

入学試験の内容は、後述の該当部分を参照してください。

3. 入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

本学類で学び成長するために、以下に掲げる力を有している学生を求めます。

- (1) 高校までに身につけるべき基礎学力
- (2) 理系科目における柔軟な思考力と応用力
- (3) 自然現象や様々な課題を観察し分析する力
- (4) 観察し分析した結果や自らの考えを表現する力

農学群

〔食農学類〕

1. 食農学類の教育目標と求める学生像

食農学類では、食品産業や農林業の第一線で活躍することや、行政や教育機関などで食品産業や農林業を支えることを目指す意欲を持ち、卒業までに次の4つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- ・農学の専門知識を関連産業や地域社会の実践的な取り組みにつなげる力
- ・異なる専門分野との学際的な交流によってチームプレイを推進できる力
- ・グローバルな科学的知見や国際比較の情報を地域の課題解決に活かす力
- ・温かい眼差しと冷静な分析力によって地域社会への貢献を持続できる力

食農学類では、2年生の後期（第4セメスター）から、食品科学コース、農業生産学コース、生産環境学コース、農業経営学コースのいずれかに所属することになります。各コースは、次のような基礎的・専門的な知識と能力を身に付けた人材の養成を目標としています。

- ・食品科学コース：食品の分析について専門的な知識・技能を身に付けている。優れた食品の製造について知識・技能のポイントを修得するとともに、地域の食の伝統的な強みを活かす筋道を具体的に理解している。
- ・農業生産学コース：果樹・園芸等を含めて作物学の専門的な知識・技能を修得している。病虫害管理や土壌肥料の原理を学ぶことにより、安全な作物生産や環境保全型農業の基本課題を深く理解している。
- ・生産環境学コース：森林・農地・水利施設等の生産環境の実態を把握し、管理・活用システムを体系的に理解している。生産環境の修復やICT等の最先端技術導入などの実践的な課題に取り組むこともできる。
- ・農業経営学コース：農林業や食品産業の活動を社会科学の観点から分析する知識・技能を修得している。農商工連携などの新潮流の情報に詳しく、協同組合や共有資源の役割についても深く理解している。

2. 入学試験の種類と内容

食農学類では期待する人材を求めて、4種類の入学試験を実施します。

それぞれの入学試験の科目などは以下のとおりです。

〔一般選抜・前期日程〕 募集人員 60人

大学入学共通テストの6教科8科目（国語、地理歴史・公民（1科目）、数学（2科目）、理科（2科目）、外国語、情報）、個別学力試験の2科目（物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物、数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C）、英語から2科目選択）で実施。

〔一般選抜・後期日程〕 募集人員 20人

大学入学共通テストの6教科8科目（国語、地理歴史・公民（1科目）、数学（2科目）、理科（2科目）、外国語、情報）、個別学力試験のペーパーインタビューで実施。

〔総合型選抜・地域社会貢献枠〕 募集人員概ね 10人

自己推薦書と調査書によって第1次選抜を行い、第1次選抜合格者を対象として課題論文と面接による第2次選抜を実施。

福島県内の高等学校等を卒業もしくは卒業見込みの者で、福島県内の農業、農業関連産業、食品関連産業、農林水産行政機関等の次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者、あるいは福島県外の高等学校等を卒業もしくは卒業見込みの者で、福島県内か出身県内の農業、農業関連産業、食品関連産業、農林水産行政機関等で次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者で、指定する資格のいずれかを取得している者を対象とします。

〔総合型選抜・実践教育経験枠〕 募集人員概ね 10人

自己推薦書と調査書によって第1次選抜を行い、第1次選抜合格者を対象として課題論文と面接による第2次選抜を実施。

高等学校専門学科（農業、工業、商業、情報、水産、家庭、看護、福祉に関する学科）、総合学科、あるいは中等教育学校専門学科（農業、工業、商業、情報、水産、家庭、看護、福祉に関する学科）を卒業見込みの者、または高等専門学校第3学年を修了見込みの者で、農学を学ぶ強い意欲を持ち、かつ指定する資格のいずれかを取得している者を対象とします。

3. 入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

本学類での成長を実現するために、以下に掲げる力を有している学生を求めます。

- (1) 高校までに身に付けるべき基礎学力
- (2) 対象を的確に捉える理解力と分析力
- (3) 主体的に課題に取り組み探究する力
- (4) 客観的かつ論理的な思考力
- (5) 自らの見解を的確に伝える表現力
- (6) 常に食と農に関心を寄せる持続力

Ⅱ. 募集人員等

学 類	コ ー ス	募 集 人 員
人間発達文化学類	芸術・表現コース	音楽 4 人 美術 4 人
	スポーツ健康科学コース	12 人
行政政策学類	夜間主 地域政策と法コース 地域社会と文化コース	20 人
経済経営学類	経済学コース 経営学コース	11 人
共生システム理工学類	情報理工学コース メカトロニクスコース 分子デザイン科学コース 環境システムコース	一般枠 24 人 理系教育女性人材育成枠 8 人
食農学類	食品科学コース 農業生産学コース 生産環境学コース 農業経営学コース	地域社会貢献枠 概ね 10 人 実践教育経験枠 概ね 10 人

【注意事項】

- 1 人間発達文化学類の総合型選抜の入学手続き者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は一般選抜前期日程の募集人員に加えます。
- 2 行政政策学類入学者の所属コースは、1年次後期に本人の希望を考慮して決定します。
- 3-1 経済経営学類の総合型選抜の入学手続き者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は原則として一般選抜前期日程の募集人員に加えます。
- 3-2 経済経営学類入学者の所属コースは、2年次前期に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します。
- 4-1 共生システム理工学類の総合型選抜では、合格者が募集人員に満たない場合があります。また、入学手続き数が募集人員に満たない場合でも追加合格は行いません。
- 4-2 共生システム理工学類の総合型選抜の入学手続き者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は一般選抜前期日程または後期日程の募集人員に加えます。
- 4-3 共生システム理工学類入学者の所属コースは、1年次後期末に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します。
- 5-1 食農学類の総合型選抜の入学手続き者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は一般選抜前期日程の募集人員に加えます。
- 5-2 食農学類入学者の所属コースは、2年次前期終了時に決定します。

Ⅲ. 出願資格

【人間発達文化学類】

【芸術・表現コース】

音楽または美術において優れた技能を有する者とします。

音楽の分野は、声楽、ピアノ、管弦打楽器（試験に持参できるものに限る）、作曲、指揮とします。

美術は、特に分野を限定しません。

【スポーツ健康科学コース】

次の種目において優れた技能を有し、全国大会（国民体育大会、全国高校総合大会、全国高校選手権大会等の競技会）またはブロック大会に出場し、プレーした者とします。

陸上競技、バレーボール、バスケットボール、サッカー、テニス（ソフトテニスは含まない）、野球（男子）、ソフトボール（女子）、バドミントン、剣道、柔道、ハンドボール、トライアスロン

新型コロナウイルス感染拡大防止のためブロック大会以上の大会が中止された場合、その予選となる大会でブロック大会以上の出場に相当する成績であれば出願することができます。また、その予選となる大会も中止となった場合、代替大会等の成績がブロック大会以上の出場に相当する成績であれば出願することができます。

【両コース共通】

次の1から3のいずれかに該当するとともに、本学類のアドミッション・ポリシーに適合し、本学類で学ぶ強い意欲を持ち、合格した場合、入学することを確約できる者とします。

1. 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和7年3月に卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和7年3月に修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（第6号を除く）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（次の①～⑥のいずれかに該当する者）
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および令和7年3月31日までに修了見込みの者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和7年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または令和7年3月31日までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による資格検定試験に合格した者を含む）および令和7年3月31日までに合格見込みの者で、令和7年3月31日までに18歳に達する者（平成19年4月1日に生まれた者を含む）
 - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7年3月31日までに18歳に達する者（平成19年4月1日に生まれた者を含む）

※出願資格3⑥により出願を希望する者については、個別審査を行いますので、本学所定の申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて、芸術・表現コースを希望する場合は令和6年9月26日（木）【午後5時必着】まで、スポーツ健康科学コースを希望する場合は令和6年9月5日（木）【午後5時必着】までに提出してください。個別審査の申請に必要な書類については、本学入試課へ問い合わせるか、本学ウェブサイトの「入試情報」（<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>）を参照してください。

〔行政政策学類 夜間主〕

下記の【大学入学資格を有する者】のうち、次の1と2のいずれかに該当した上で、本学類のアドミッション・ポリシーに適合し、本学類で学ぶ強い意志を持ち、合格した場合、入学することを確約できる者となります。

1. 令和7年3月31日現在、年齢が満22歳に達している者（平成15年4月1日に生まれた者を含む）
2. 令和7年3月31日現在、年齢が満22歳に達していない者で、出願時に就職している者（主婦（主夫）業を含む）、就職が内定している者、または入学後に就業しながら修学する意思を確約できる者

なお、就職・就業にはアルバイト、パート等を含み、労働時間が週平均20時間以上のものに限りません。

【大学入学資格を有する者】とは次のいずれかに該当する者をいいます。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和7年3月に卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和7年3月に修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（第6号を除く）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（次の①～⑥のいずれかに該当する者）
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および令和7年3月31日までに修了見込みの者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和7年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または令和7年3月31日までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による資格検定試験に合格した者を含む）および令和7年3月31日までに合格見込みの者で、令和7年3月31日までに18歳に達する者（平成19年4月1日に生まれた者を含む）
 - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7年3月31日までに18歳に達する者（平成19年4月1日に生まれた者を含む）

※出願資格(3)⑥により出願を希望する者については、個別審査を行いますので、本学所定の申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて、令和6年9月26日（木）〔午後5時必着〕までに提出してください。個別審査の申請に必要な書類については、本学入試課へ問い合わせるか、本学ウェブサイトの「入試情報」（<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>）を参照してください。

なお、夜間主に入学しても、在留資格「留学」は得られないことに注意してください。また、夜間主では、教員免許の取得はできません。

〔経済経営学類〕

次の1から3のいずれかに該当するとともに、本学類のアドミッション・ポリシーに適合し、本学類で学ぶ強い意欲を持ち、合格した場合、入学することを確約できる者としてします。

1. 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和7年3月に卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和7年3月に修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（第6号を除く）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（次の①～⑥のいずれかに該当する者）
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および令和7年3月31日までに修了見込みの者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和7年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または令和7年3月31日までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による資格検定試験に合格した者を含む）および令和7年3月31日までに合格見込みの者で、令和7年3月31日までに18歳に達する者（平成19年4月1日に生まれた者を含む）
 - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7年3月31日までに18歳に達する者（平成19年4月1日に生まれた者を含む）

※出願資格3⑥により出願を希望する者については、個別審査を行いますので、本学所定の申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて、令和6年7月29日（月）〔午後5時必着〕までに提出してください。個別審査の申請に必要な書類については、本学入試課へ問い合わせるか、本学ウェブサイトの「入試情報」（<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>）を参照してください。

なお、総合型選抜に出願した者が本学類の学校推薦型選抜に出願した場合は、総合型選抜の出願を辞退したものとみなします。

【共生システム理工学類】

【一般枠】

次の（１）から（３）のすべてに該当する者とします。

【理系教育女性人材育成枠】

次の（１）から（３）のすべてに該当する女子とします。

【両枠共通】

（１）以下のいずれかに該当する者

- （１a）高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和 7 年 3 月卒業見込みの者
- （１b）通常の課程による12 年の学校教育を修了した者および令和 7 年 3 月修了見込みの者
- （１c）学校教育法施行規則（昭和22 年文部省令第11 号）第150 条の規定（第 6 号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者および令和 7 年 3 月までにこれに該当する見込みの者（次の①～⑥のいずれかに該当する者）
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による資格検定試験に合格した者を含む）および令和 7 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、令和 7 年 3 月 31 日までに18歳に達する者（平成19年 4 月 1 日に生まれた者を含む）
 - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和 7 年 3 月 31 日までに18歳に達する者（平成19年 4 月 1 日に生まれた者を含む）

（２）本学類のアドミッション・ポリシーに適合し、本学類で学ぶ強い意欲を持ち、合格した場合に入学を確約する者

（３）以下のいずれかに該当する者

- （３a）出願時まで実用英語検定試験 2 級以上に合格、または、TOEIC L&R550 点以上、TOEIC S&W 240 点以上、TOEFL iBT 42 点以上いずれかのスコアを有する者
- （３b）高等学校を卒業した者（卒業見込みの者）で、高等学校在学中に「科学に関する探索的活動」に取り組み、出願時まで学外での発表・コンテスト参加等の経験を有する者
- （３c）調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.0 以上の者で、高等学校において数学「数学Ⅲ、数学Cのうち 1 科目以上」、および、理科「物理（物理基礎を除く）、化学（化学基礎を除く）、生物（生物基礎を除く）、地学（地学基礎を除く）のうち 1 科目以上」を履修した者または履修している者

※出願資格（１c）⑥により出願を希望する者については、個別審査を行いますので、本学所定の申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて、令和 6 年 7 月 29 日（月）【午後 5 時必着】までに提出してください。個別審査の申請に必要な書類については、本学入試課へ問い合わせるか、本学ウェブサイトの「入試情報」（<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>）を参照してください。

〔食農学類〕

地域社会貢献枠

次の1から4のすべてに該当する者とします。

1. 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和7年3月に卒業見込みの者、または高等専門学校の第3学年を修了見込みの者
2. 福島県内の高等学校等を卒業もしくは卒業見込みの者で、福島県内の農業、農業関連産業、食品関連産業、農林水産行政機関等の次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者。福島県外の高等学校等を卒業もしくは卒業見込みの者で、福島県内もしくは出身県内の農業、農業関連産業、食品関連産業、農林水産行政機関等で次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者
3. 本学類のアドミッション・ポリシーに適合し、本学類で学ぶ強い意志を持ち、合格した場合は入学することを確約できる者
4. 以下のいずれかを取得している者
 - ① 実用英語技能検定準2級以上
以下の検定結果でも可
CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）A2とし
IELTS 3.0以上，TEAP 150以上，GTEC 690以上，GTEC CBT 510以上，
TOEIC L&R S&W 385以上（L&R 225以上，S&W 160以上）など
 - ② 実用数学技能検定2級以上
 - ③ 上記同等，同等以上の資格（例 情報処理検定ビジネス1級など）（注）

実践教育経験枠

次の1から3のすべてに該当する者とします。

1. 高等学校専門学科（農業，工業，商業，情報，水産，家庭，看護，福祉に関する学科），総合学科もしくは中等教育学校専門学科（農業，工業，商業，情報，水産，家庭，看護，福祉に関する学科）を令和7年3月に卒業見込みの者または高等専門学校の第3学年を修了見込みの者で，農学を学ぶ強い意欲を持つ者
2. 本学類のアドミッション・ポリシーに適合し，本学類で学ぶ強い意志を持ち，合格した場合は入学することを確約できる者
3. 以下のいずれかを取得している者
 - ① 実用英語技能検定準2級以上
以下の検定結果でも可
CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）A2とし
IELTS 3.0以上，TEAP 150以上，GTEC 690以上，GTEC CBT 510以上，
TOEIC L&R S&W 385以上（L&R 225以上，S&W 160以上）など
 - ② 実用数学技能検定2級以上
 - ③ 日本農業技術検定3級以上
 - ④ 日本商工会議所簿記検定2級以上
 - ⑤ 上記同等，同等以上の資格（例 情報処理検定ビジネス1級など）（注）

（注）「上記同等，同等以上の資格」については，本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」（<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>）に掲載している別紙を参照してください。

IV. 出願手続

1. 出願方法の確認 (Step 1)

出願手続については、本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>)に掲載されている「インターネット出願ガイド」および以下を参照してください。

インターネット出願登録 (下記 Step 2) だけでは出願手続は完了しません。

Step 1	出願方法の確認 (13～14 ページ参照)	出願手続を始める前に、この学生募集要項をよく読んで、内容を確認してください。
Step 2	インターネット出願登録 (14 ページ参照)	出願登録期間内に、インターネット出願サイトにアクセスして必要な情報を入力してください。
Step 3	検定料の支払い (14～15 ページ参照)	インターネット出願サイトの指示に従い、検定料を支払ってください (検定料免除申請を行う場合は支払わないでください)。
Step 4	必要書類の作成・印刷・送付 (15～17 ページ参照)	インターネット出願サイトおよび本学ウェブサイトから印刷した必要書類と、他の全ての必要書類を出願期間内に本学へ届くよう「簡易書留速達」で郵送してください。
Step 5	受験票の印刷 (17 ページ参照)	出願が受理された方は、出願期間後にインターネット出願サイトから受験票を印刷できるようになります。入学志願者各自がカラー印刷して、必ず試験当日に持参してください。

2. 事前準備 (Step 1)

インターネット出願登録の前に、あらかじめ余裕をもって確認および準備をしてください。	
パソコン等の準備	インターネット出願は、以下の環境で行ってください。 <Windows> ・Microsoft Edge (最新バージョン) ・Google Chrome (最新バージョン) ・Firefox (最新バージョン) <Mac OS> ・Safari (最新バージョン) <Android 12.0 以上> ・Android Chrome (最新バージョン) <iOS 15.0 以上> ・Safari (最新バージョン) ※最新バージョン以外でも利用することはできますが、正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。また、その場合は最新バージョンへアップデートしてご利用ください。

メールアドレスの準備およびメールの設定	<p>出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを準備してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。</p> <p>(@adb.fukushima-u.ac.jp, @postanet.jp)</p> <p>出願時に登録したメールアドレスに、以下に該当するメールが送信されます。</p> <p>① インターネット出願登録入力中のテストメール ② 出願登録情報の入力完了時の自動送信メール ③ 検定料支払完了時の自動送信メール（検定料免除申請を行う場合は送信されません） ④ 顔写真が否認された際のメール （出願後、数日で承認または否認されます） ⑤ 受験票が取得・印刷可能になった際の通知メール</p> <p>※受験票を印刷するまで、メールアドレスは変更しないでください。</p>
入学志願者本人写真（データ）の準備	<p>インターネット出願登録にあたって、カラーの顔写真データ（jpg）が必要です（受験票に顔写真が掲載されることとなります）。</p> <p>写真は本人確認に使用しますので、インターネット出願サイトにて出願前3か月以内に正面向、上半身、脱帽、背景なしで撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。写真の比率は縦4cm×横3cm、ファイルサイズは3MBまでです。</p> <p>以下の【使用できない写真の例】に該当するような、本人確認に支障のある写真の場合は、出願を受け付けられないことがあるので注意してください。</p> <p>【使用できない写真の例】</p> <p>不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数名で写っている、画像に加工を施している、<u>現像された写真を再撮影しているもの</u>等。</p>
必要書類等の準備	<p>「7. 出願書類等」（15～17 ページ参照）記載の書類を、出願期間に間に合うようあらかじめ準備してください。</p>
出願書類提出用封筒の準備	<p>出願書類提出のために、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）を準備してください。</p> <p>※共生システム理工学類入学志願者は、ポスターが入る封筒であれば、封筒のサイズは問いません。</p>
様式印刷の準備（プリンタ、印刷用紙等）	<p>インターネット出願サイトから出力する様式類は、A4サイズの印刷用紙にカラー印刷する必要がありますので、カラープリンタおよび印刷用紙を準備してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いませんが、個人情報の取り扱いには十分注意してください。</p> <p>印字が不鮮明で事実確認ができない場合は、本人に問い合わせをする場合があります。</p>

3. インターネット出願登録期間（Step 2）

人間発達文化学類	芸術・表現コース	令和6年10月26日（土）～10月31日（木）午後4時30分まで
	スポーツ健康科学コース	令和6年10月5日（土）～10月17日（木）午後4時30分まで
行政政策学類 夜間主		令和6年10月20日（日）～10月25日（金）午後4時30分まで
経済経営学類		令和6年8月31日（土）～9月5日（木）午後4時30分まで
共生システム理工学類		令和6年8月31日（土）～9月5日（木）午後4時30分まで
食農学類		令和6年9月22日（日）～9月27日（金）午後4時30分まで

4. 検定料の支払い（Step 3）

検定料は人間発達文化学類・経済経営学類・共生システム理工学類・食農学類は17,000円（行政政策学類 夜間主のみ10,000円）です。インターネット出願サイトの支払い方法を参照して、「クレジットカード」「コンビニエンスストア」「ペイジー（ネットバンキング・銀行ATM）」のいずれかの方法で払い込んでください（払込手数料が別途必要です）。

【払込期間】

人間発達文化学類	芸術・表現コース	令和6年10月26日（土）～10月31日（木）午後4時30分まで
	スポーツ健康科学コース	令和6年10月5日（土）～10月17日（木）午後4時30分まで
行政政策学類 夜間主		令和6年10月20日（日）～10月25日（金）午後4時30分まで
経済経営学類		令和6年8月31日（土）～9月5日（木）午後4時30分まで
共生システム理工学類		令和6年8月31日（土）～9月5日（木）午後4時30分まで
食農学類		令和6年9月22日（日）～9月27日（金）午後4時30分まで

支払期限はインターネット出願登録を完了した日を含む4日間です（出願締切が4日より短い場合、出願締切が優先されます）。

出願書類を受理した後は、いかなる理由があっても検定料は返還できません。ただし次の場合は検定料返還請求ができますので下記に申し出てください。

ア. 検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった、または出願が受理されなかった）

イ. 検定料を誤って二重に払い込んだ

※人間発達文化学類スポーツ健康科学コース，経済経営学類，共生システム理工学類，食農学類の第1次選抜不合格者に対しては，本人の請求に基づき，13,000円を返還します。

なお，請求方法等については，該当者へ個別に通知します。

検定料返還に関する問い合わせ先：

検定料返還手続きに関すること：福島大学入試課

Tel:024-548-8064

返還金の振込に関すること：福島大学財務課出納係

Tel:024-548-8015

※検定料免除について

本学では，令和6年度に行われる全ての入試において，検定料免除の特別措置を行います。

免除の条件については32ページの「ⅩⅡ. 東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について」を確認してください。

検定料免除申請を行う場合は，出願時に検定料を払い込まないでください。

5. 出願期間（Step 4）

人間発達文化学類	芸術・表現コース	令和6年10月28日(月)～10月31日(木) 午後5時まで
	スポーツ健康科学コース	令和6年10月7日(月)～10月17日(木) 午後5時まで
行政政策学類 夜間主		令和6年10月22日(火)～10月25日(金) 午後5時まで
経済経営学類		令和6年9月2日(月)～9月5日(木) 午後5時まで
共生システム理工学類		令和6年9月2日(月)～9月5日(木) 午後5時まで
食農学類		令和6年9月24日(火)～9月27日(金) 午後5時まで

6. 出願書類提出先（Step 4）

福島大学入試課 〒960-1296 福島市金谷川1番地 Tel:024-548-8064

7. 出願書類等（Step 4）

入学志願者は，次表の1～5の書類および志願学類指定書類を取り揃え，簡易書留速達で郵送してください。出願期間を過ぎた場合は受理できません。郵送期間を十分に考慮して早めに送付してください。ただし，「5. 出願期間」で定める出願期間最終日前日の発信局消印のある簡易書留速達に限り，期限後に到着した場合でも受理します。出願期間最終日当日の発信局消印の簡易書留速達は，受理しません。（出願期間内に書類が本学に到着しないことが確実であるため）

持参の場合，入試課の窓口受付時間は平日の午前9時から午後5時までです。

出願に必要な書類	摘 要
1. 入学志願票 (◇) 【全員提出】	インターネット出願サイトからA4サイズでカラー印刷してください。
2. 調査書 【全員提出】	高等学校長，中等教育学校長または高等専門学校長が作成したもの（開封無効）。高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定）合格（見込み）者は，調査書に代えて，合格成績証明書（合格見込みの者は，合格見込成績証明書）を提出してください。なお，高等学校等において一部科目を修得し免除された者は，在学期間中の調査書または成績証明書も提出してください。

<p>3. 検定料免除申請書 (◆) および添付書類 【※申請者のみ提出】</p>	<p>本学所定の様式 なお, 検定料免除申請を行う場合は, 出願時に検定料を払い込まないでください。</p>
<p>4. 出願書類提出用封筒 【全員提出】</p>	<p>各自で準備した市販の角形2号(240mm×332mm)の封筒に, 上記1~3の必要書類で該当するものおよび志願書類指定書類を封入し, 簡易書留速達で郵送してください。</p>
<p>5. 出願書類提出用宛名シート (◇) 【全員提出】</p>	<p>インターネット出願サイトからカラーで印刷し, 「4. 出願書類提出用封筒」のおもて面にはがれないよう全面のり付けで貼付してください。 出願に必要な書類を封入し, 宛名シートの出願者チェック欄において, 出願書類に漏れがないことをチェックしてください。</p>
<p>【人間発達文化学類 入学志願者のみ】 上記1~5に加えて以下のもの</p>	
<p>① 自己推薦書 (◆)</p>	<p>本学所定の様式 入学志願者本人が作成したもの。 ※芸術・表現コースの入学志願者は, 新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった, 参加予定だったコンクールあるいは出品予定だった展覧会にむけての努力のプロセスを, 裏面「2. 特技に関する自己PRを記入してください」の記載に含めてください。実技実績調査書記載の提出資料とあわせて評価します。</p>
<p>② 実技実績調査書 (◆) および添付書類</p>	<p>本学所定の様式 記載内容および添付書類については, 記入要領を参考に作成してください。</p>
<p>【行政政策学類 夜間主 入学志願者のみ】 上記1~5に加えて以下のもの</p>	
<p>① 志願理由書 (A票およびB票) (◆)</p>	<p>本学所定の様式 入学志願者本人が作成したもの。</p>
<p>② 就職を証明する書類または入学後に就業しながら修学する意思を確認する書類 ※満22歳に達している者は提出不要</p>	<p>(1) 就職している者 就職し, 週平均20時間以上労働していることを証明する次のいずれかの書類 ① 在職証明書(勤務時間, 勤務日数等が明記されており, 週20時間以上の労働が確認できること。作成例を本学ウェブサイト「入試情報-募集要項」(https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html)からダウンロードできます。) ② 給与明細書の写し(健康保険料・厚生年金掛金等が控除されていること) ③ 源泉徴収票の写し(社会保険料等の金額が入っていること) ④ 健康保険証の写し(主婦(主夫)業の場合は被扶養者の記載でも可) ⑤ 所得証明書または確定申告書の写し(自営業者の場合)</p> <p>(2) 就職が内定している者 就職が内定し, 週平均20時間以上労働することを証明する次のいずれかの書類 ① 内定証明書(勤務時間, 勤務日数等が明記されており, 週20時間以上の労働が確認できること。作成例を本学ウェブサイト「入試情報-募集要項」(https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html)からダウンロードできます。) ② 労働条件通知書や雇用契約書</p> <p>(3) (1), (2)の証明が困難な者で, 今後就職活動を行い, 入学後に週平均20時間以上就業しながら修学する意思がある者 入学後に週平均20時間以上就業しながら修学する意思を確認する書類(就職意思確認書。作成例を本学ウェブサイト「入試情報-募集要項」(https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html)からダウンロードできます。) ※ただし, 本書類で出願が認められ, 合格した者は, 前記の(1)または(2)にあたる書類を今年度内に改めて提出することが求められます。</p>

【経済経営学類 入学志願者のみ】 15～16 ページ記載の 1～5 に加えて以下のもの	
① 課題図書に基づくレポート (◆)	本学所定の様式 入学志願者本人が作成したもの。
② 志願理由書 (◆)	本学所定の様式 入学志願者本人が作成したもの。
【共生システム理工学類 入学志願者のみ】 15～16 ページ記載の 1～5 に加えて以下のもの	
① 志願理由書 (◆)	本学所定の様式 入学志願者本人が作成したもの。
② 取得資格を確認できる書類	出願資格 (3a) に該当する者は、実用英語技能検定 2 級以上等の取得資格を確認できる書類の写し。
【食農学類 入学志願者のみ】 15～16 ページ記載の 1～5 に加えて以下のもの	
① 自己推薦書 (◆)	本学所定の様式 (A 4 用紙 2 ページ) 入学志願者本人が作成したもの。
② 取得資格を確認できる書類	出願資格のうち、実用英語技能検定準 2 級以上等の取得資格を確認できる書類の写し。

8. 出願書類作成上の注意事項 (Step 4)

- (1) 表中の「◇」印の書類は、インターネット出願登録後にインターネット出願サイトから A 4 サイズでカラー印刷する書類です。インターネット出願登録完了後は、登録内容の修正はできませんので、誤入力のないよう注意してください。
- (2) 表中の「◆」印の書類は、本学ウェブサイトから様式を A 4 サイズでモノクロ印刷 (複数ページの場合は両面印刷) して作成する書類です。
(本学ウェブサイト「入試情報-募集要項」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>))
黒か青のボールペンまたは万年筆を用い、楷書で記入してください。自筆作成の指定がない書類は、パソコンによる作成も可能です。
- (3) 押印が必要な書類もありますので注意してください。
- (4) 誤って記入した場合は、誤記入の部分を二重線で消し訂正してください。
- (5) 廃校、被災または保存期間超過による廃棄など種々の事情により出身学校の調査書を得られない者は、卒業証明書および成績証明書 (成績通信簿) を提出してください。また、成績証明書も得られない場合には、調査書・成績証明書が発行できない旨の証明書 (出身学校長が作成したもの) を提出してください。提出は原本に限ります。原本の返却を希望する場合は「返送用封筒」を各自で準備し、切手を貼り付けて、出願書類に同封してください。また、これらの卒業証明書等が整わない場合には、本学入試課へ問い合わせてください。
- (6) 出願書類に次のような不備のある場合は受理できませんので注意してください。
 - ① 入学志願票等に、記入漏れまたは誤記入があるもの
 - ② 出願書類として添付が必要な証明書等が、同封されていないもの
- (7) 出願書類受理後、出願の取り消し、書類の返却および志望等の変更 (志望学類・コース等、個別学力検査選択科目、音楽実技検査選択科目等) は認めません。
- (8) 出願書類について虚偽の記載があった場合は、入学を取り消すことがあります。
- (9) 証明書記載の氏名と出願時の氏名が異なる場合は、同一人であることが分かる公的な証明書 (戸籍抄本等) を別途提出してください。

9. 受験票の印刷について (Step 5)

受験票は、出願期間後にインターネット出願サイトから印刷できるようになります。

カラー印刷し、切り取り線に沿ってはさみで切り、試験当日に必ず持参してください。

出願時に登録されたメールアドレスへ、受験票の印刷ができるようになったことをお知らせするメールをお送りしますが、プロバイダによりメールが届かない場合でも、試験日の 3 日前までにインターネット出願サイトにログインして受験票を印刷してください。

10. 出願状況についての情報提供

本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に出願状況等を掲載します。

V. 障がい等のある入学志願者の事前相談

病気・負傷や障がい等のある入学志願者で、受験上および修学上の配慮を必要とする場合は、出願の1か月前までに本学入試課に申し出てください。試験時間中、病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用した場合は、受験上の配慮申請が必要です。

○人間発達文化学類，共生システム理工学類および食農学類への志願の際の注意事項

言語，視覚，聴覚および運動機能に障がいのある者は，障がいの程度によっては教育課程の履修が困難な場合がありますので，これらの障がいがある者で不安がある場合は，できるだけ早い時期に本学入試課まであらかじめ問い合わせた上で出願してください。

VI. 選 抜 方 法

【人間発達文化学類】

1. 芸術・表現コース（音楽4人，美術4人）

小論文（100点満点），面接（自己推薦書，実技実績調査書，出願時に提出した作品の評価を含む。100点満点），実技検査（100点満点）の成績の総合点により判定します。ただし，小論文，面接，実技検査のうちいずれかの得点が一定の点数（30点）に達しない者は，合格者とはなりません。なお，出願書類は面接の資料として利用します。

小論文：芸術や文化についての資料を与え，1,000字程度で論述させ，論述能力をみるとともに，芸術・文化に対する知識や関心などを総合的にみます。

実技検査：音楽は，専門として出願した分野が演奏（声楽，ピアノ，管弦打楽器）の場合はあらかじめ出願者が準備した任意の曲（複数も可）を演奏し（声楽，ピアノは暗譜），作曲および指揮の場合は，和声課題（四声体）を解答させます。その結果をもとに，広い観点から，音楽性，技術性，芸術性，可能性などを判断します。

美術は，素描（鉛筆デッサン）を行います。その結果をもとに形態把握力，質感表現力，色彩感覚，構成力等を含めた総合的な表現力をみます。

面接：出願書類に基づいて，過去の実技実績や芸術文化に関する活動内容等を評価し，専門領域への関心や意欲をみます。音楽は，過去の実技実績，すなわち演奏や発表の実績（演奏，発表，受賞）や専門分野に関する活動（サークル活動・社会活動など）の資料，作品や演奏の録音・録画などの記録の提出を求めます。美術は，過去の実技実績（制作した作品や展覧会，コンクール等での発表活動）や専門分野に関する活動（サークル活動・社会活動など）の資料（写真やコピー）提出を求めます。

実技検査の持参品

- ・素描（鉛筆デッサン）：・・・鉛筆，消し具，カッターナイフ

【選抜日程】

試 験 日	時 間	試 験 科 目 等
令和6年11月20日(水)	9：00～10：30	小論文
	11：00～12：30 終了予定	実技検査
	13：30～17：00 終了予定	面接

2. スポーツ健康科学コース（スポーツ 12 人）

入学者の選抜は、第 1 次選抜、第 2 次選抜により行います。

<第 1 次選抜>

自己推薦書、実技実績調査書を総合して選抜します。

なお、入学志願者が 24 人を超えない場合には、第 1 次選抜を実施せず、第 2 次選抜のみとします。

その際は、10 月 24 日（木）に本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に掲載します。

【第 1 次選抜合格発表】

令和 6 年 10 月 24 日（木）午前 11 時に本学ウェブサイトの「入試情報」

(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>) に受験番号を掲載するとともに、本人あてに通知します。

<第 2 次選抜>

第 1 次選抜合格者に対して、小論文（100 点満点）、面接（自己推薦書、高等学校等で学習した基礎的な内容についての口頭試問を含む。100 点満点）、実技実績調査書（100 点満点）の成績の総合点により選抜します。ただし、小論文または面接の得点が一定の点数（30 点）に達しない者は、合格者とはなりません。

なお、1 種目の合格者数は募集人員の半数を超えないものとします。また、出願書類は面接の資料として利用します。

小論文：スポーツや健康についての資料を与え、1,000 字程度で論述させ、スポーツや健康に対する論理的思考力を総合的にみます。

面接：出願資料に基づいて、スポーツに関する基礎的な知識と生涯にわたってスポーツに携わっていくことへの意欲や関心、出場予定だった大会に向けての努力のプロセスを総合的にみます。また、高等学校で学習した基礎的な内容についての口頭試問を行い、基礎的な学力をみます。

実技実績調査書：競技実績に基づいて評価します。

【選抜日程】

試 験 日	時 間	試 験 科 目 等
令和 6 年 11 月 20 日（水）	9 : 00～10 : 30	小論文
	12 : 00～17 : 00 終了予定	面接

【行政政策学類 夜間主】

志願理由書に基づいた口頭試問（100点）を行い，問題意識や勉学意欲等を総合的にみます。また口頭試問では，志望動機に関してはA・B・C・Dで評価を行い，D評価の場合には口頭試問の得点如何にかかわらず不合格となります（D評価とは基準を満たさないと判断された場合を言います）。なお，調査書（もしくは成績証明書等）は判定の基礎資料として利用します。

【選抜日程】

試 験 日	時 間	試験科目等
令和6年11月16日（土）	集合時間は，試験日の2週間前までに本学ウェブサイト「入試情報」でお知らせします。	口頭試問

【経済経営学類】

入学者の選抜は、第1～3次選抜により行います。

1. 第1次選抜

書類審査。課題図書に基づくレポート（2冊程度を事前に以下ウェブサイトに掲載します）と志願理由書によって、20人程度を選抜します（100点満点）。調査書は書類審査のための基礎資料として使用します。なお、入学志願者が20人を超えない場合にも書類審査によって第1次選抜合格者を決定します。

課題図書の掲載場所: 本学ウェブサイト (<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>) の「重要なお知らせ」

【第1次選抜合格発表】

令和6年10月10日（木）午前11時に本学ウェブサイトの「入試情報」

(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>) に受験番号を掲載するとともに、本人あてに通知します。

2. 第2次選抜

第1次選抜合格者には、課題図書にもとづく集団討論（100点満点）、および志願理由書にもとづく面接試験（100点満点）を行います。経済経営学類のアドミッション・ポリシーにおける「入学者選抜の際に求める知識・技能・関心」の観点から総合的に評価します。

【第2次選抜日程】

試 験 日	時 間	試験科目等
令和6年12月7日（土）	第1次選抜合格者への通知の際にお知らせします。	集団討論
		面接試験

【第2次選抜合格発表】

令和6年12月12日（木）午前11時に本学ウェブサイトの「入試情報」

(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>) に受験番号を掲載するとともに、本人あてに通知します。

第2次選抜に合格された方は、令和7年度大学入学共通テスト受験票（写し）と成績請求票（原本）を、後日お知らせする締め切りまでに福島大学入試課へ郵送してください。詳細は、合格通知書に同封する書類をご確認ください。

3. 第3次選抜

第2次選抜合格者の中で、大学入学共通テストの指定する科目のうち、3つの教科グループ《国語・外国語》《地理歴史、公民》《数学・情報》のうち2つにおいて、60点（100点満点、なお「国語」「外国語」は200点満点を100点に圧縮して利用しますが、このうち「英語」においては「リーディング」100点満点を80点に「リスニング」100点満点を20点にそれぞれ圧縮して用い、「リスニング」を免除された場合は「リーディング」100点満点をそのまま用います）以上の科目がある者を最終合格者とします。教科ごとの科目指定は下記のとおりです。

（新教育課程履修者）

- ・国語：「国語」
- ・外国語：「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」
- ・地理歴史、公民：「地理総合、地理探究」「歴史総合、日本史探究」「歴史総合、世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」「公共、倫理」「公共、政治・経済」
 - *「地理総合／歴史総合／公共」は、地理総合、歴史総合および公共の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答してください。
- ・数学：「数学Ⅰ、数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ、数学B、数学C」
- ・情報：「情報Ⅰ」

(旧教育課程履修者等)

- ・国語：「国語」
- ・外国語：「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」
- ・地理歴史，公民：「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」「歴史総合，世界史探究」
「地理総合／歴史総合／公共」「公共，倫理」「公共，政治・経済」「旧世界史A」「旧世界史B」
「旧日本史A」「旧日本史B」「旧地理A」「旧地理B」「旧現代社会」「旧倫理」「旧政治・経済」
「旧倫理，政治・経済」
*「地理総合／歴史総合／公共」は，地理総合，歴史総合および公共の3つを出題範囲とし，そのうち2つを選択解答してください。
- ・数学：「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学B，数学C」「旧数学Ⅰ」「旧数学Ⅰ・旧数学A」
「旧数学Ⅱ」「旧数学Ⅱ・旧数学B」「旧簿記・会計」「旧情報関連基礎」
・情報：「情報Ⅰ」「旧情報」

なお，過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。今年度の大学入学共通テストの成績のみ利用します。

【経済経営学類 大学入学共通テスト受験教科・科目自己確認表】

受験予定の教科・科目が、経済経営学類が課す2つの教科グループに入っているか、各自で必ずチェックして出願してください。（注：確認の際には、22～23ページで受験を要する教科等をよく確認してください）
 なお、この表は提出する必要はありません。

（新教育課程履修者用）

学類	教科名	科目名	←受験予定の科目が入っている教科グループに☑をつける	←☑をつけた教科グループが2つ以上あれば☑をつける
経済経営学類	国語	「国語」	□	□
	外国語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」		
	地理歴史、 公民	「地理総合、地理探究」 「歴史総合、日本史探究」 「歴史総合、世界史探究」 「地理総合/歴史総合/公共」 「公共、倫理」 「公共、政治・経済」 *「地理総合/歴史総合/公共」は、 地理総合、歴史総合および公共の3 つを出題範囲とし、そのうち2つを 選択解答してください。	□	
	数学	「数学Ⅰ、数学A」 「数学Ⅰ」 「数学Ⅱ、数学B、数学C」	□	
	情報	「情報Ⅰ」		
	注意) 理科は経済経営学類総合型選抜では用いません。			

(旧教育課程履修者等用)

学類	教科名	科目名	←受験予定の科目が入っている教科グループに☑をつける	←☑をつけた教科グループが2つ以上あれば☑をつける
経済経営学類	国語	「国語」		
	外国語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	☐	
	地理歴史、 公民	「地理総合、地理探究」 「歴史総合、日本史探究」 「歴史総合、世界史探究」 「地理総合/歴史総合/公共」 「公共、倫理」 「公共、政治・経済」 *「地理総合/歴史総合/公共」は、 地理総合、歴史総合および公共の3 つを出題範囲とし、そのうち2つを 選択解答してください。 「旧世界史A」 「旧世界史B」 「旧日本史A」 「旧日本史B」 「旧地理A」 「旧地理B」 「旧現代社会」 「旧倫理」 「旧政治・経済」 「旧倫理、政治・経済」	☐	☐
	数学	「数学Ⅰ、数学A」 「数学Ⅰ」 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「旧数学Ⅰ」 「旧数学Ⅰ・旧数学A」 「旧数学Ⅱ」 「旧数学Ⅱ・旧数学B」 「旧簿記・会計」 「旧情報関連基礎」	☐	
	情報	「情報Ⅰ」 「旧情報」		
	注意) 理科は経済経営学類総合型選抜では用いません。			

【共生システム理工学類】

入学者の選抜は、第1次選抜、第2次選抜により行います。

1. 第1次選抜

出願時に提出された志願理由書および出願書類を総合的に評価し、一般枠および理系教育女性人材育成枠あわせて70人程度を第1次選抜合格者とします。なお、入学志願者が70人を超えない場合には、第1次選抜を実施せず、第2次選抜のみとします。

その際は、9月18日(水)に本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に掲載します。

○志願理由書

以下について、指定様式に記載してください。なお、記載は出願者本人による手書きとします。

1. 出願資格(3)に関する経験・実績(出願者がどのように努力してきたのか、取り組みの過程で学んだ(感じた)こと、本学類での学修にどのように活かそうとするのか)
2. 将来の目標、それを実現するための計画
3. 自己PR
4. (理系教育女性人材育成枠のみ)理系教育女性人材育成枠に志願する動機・理由

【第1次選抜合格発表】

令和6年9月18日(水)午前11時に本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に受験番号を掲載するとともに、本人あてに通知します。

2. 第2次選抜

第1次選抜合格者に対して、幅広い分野における科学的なトピックに関する30分程度の模擬授業を行います。授業後に、模擬授業の内容に関する課題レポートの作成を課し、さらに面接を実施します。そして、以下に記した力を総合的に評価し選考します。

○模擬授業 課題レポート

模擬授業の内容を聴き取り理解する力、授業内容についての基礎的な知識や思考力を評価します。模擬授業の内容を踏まえ、設定された課題について思考・判断してレポートにまとめる力や表現力を評価します。

(以下、理系教育女性人材育成枠のみ)

さらに、課題の問いに対する探究力および思考の柔軟性についても評価します。

○面接

面接員との質疑応答を通して、大学生活に対する意欲・関心や自身の考えを伝えるコミュニケーション力・表現力等について評価します。

(以下、理系教育女性人材育成枠のみ)

さらに、志願理由書の「4. 理系教育女性人材育成枠に志願する動機・理由」に基づく面接を行い、高等学校において主体的に活動した事例を踏まえ、「理系教育女性人材育成枠」に志願した動機・理由、主体性等についても評価します。

【選抜日程】

試験日	時間	試験科目等
令和6年10月5日(土)	11:00~11:50	模擬授業 課題レポート
	13:00~16:00 終了予定	面接

3. その他

- ・総合型選抜を志願する女子は、出願する枠を以下の中から選択することができます。
□ 一般枠 □ 理系教育女性人材育成枠 □ 一般枠と理系教育女性人材育成枠の併願
- ・一般枠と理系教育女性人材育成枠の併願者が両枠に合格した場合、理系教育女性人材育成枠の合格者とします。
- ・合格者には、入学前教育として大学入学共通テストの受験と、「大学入学共通テスト成績通知書」の提出を求めます。大学入学共通テスト出願時に「成績通知を希望する」を選択してください。受験を要する教科は、「外国語」，「数学」および「理科」です（数学および理科の科目名等は、下記のとおりです。）。ただし、大学入学共通テストの成績は合否の判定には用いません。

（新教育課程履修者）

「数学」：数学①「数学Ⅰ，数学A」および
数学②「数学Ⅱ，数学B，数学C」

「理科」：「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」，「物理」，「化学」，「生物」，
「地学」から2

- * 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、物理基礎，化学基礎，生物基礎および地学基礎の4つを出題範囲とし，そのうち2つを選択解答してください。
- * 「理科」については，「基礎を付した出題範囲」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む出題範囲と科目を選択することはできません。

（旧教育課程履修者等）

- ・「数学」：数学①「数学Ⅰ，数学A」，「旧数学Ⅰ」，「旧数学Ⅰ・旧数学A」から1
数学②「数学Ⅱ，数学B，数学C」，「旧数学Ⅱ」，「旧数学Ⅱ・旧数学B」，
「旧簿記・会計」，「旧情報関係基礎」から1
- * 「旧簿記・会計」，「旧情報関係基礎」を選択解答することができる者は，高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程修了（見込み）者に限ります。
- ・「理科」：「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」，「物理」，「化学」，「生物」，
「地学」から2
- * 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は，物理基礎，化学基礎，生物基礎および地学基礎の4つを出題範囲とし，そのうち2つを選択解答してください。
- * 「理科」については，「基礎を付した出題範囲」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む出題範囲と科目を選択しても構いません。

【食農学類】

入学者の選抜は、第1次選抜、第2次選抜により行います。

1. 第1次選抜

書類選考とします。

以下の書類により、熱意と適性の評価を行います。

- ・自己推薦書（本学様式）
- ・調査書（食農学類への適性を判断するため使用）

【第1次選抜合格発表】

令和6年10月10日（木）午前11時に本学ウェブサイトの「入試情報」

(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>) に受験番号を掲載するとともに、本人あてに通知します。

2. 第2次選抜

第1次選抜合格者に対して、課題論文を課すとともに面接を実施し、総合的に評価します。

（課題論文）

地域社会貢献枠：農学と地域社会のつながりに関する配付資料について、800字以内の論述を求め、理解力、思考力、表現力を総合的に評価します。

実践教育経験枠：農学に関する配付資料について、自分自身の経験と関連付けた800字以内の論述を求め、理解力、思考力、表現力を総合的に評価します。

（面接）

地域社会貢献枠：自己推薦書の内容を中心に質問を行います。地域社会での経験や関心を発展的な取り組みにつなぐ意欲を把握し、基礎学力、勉学への積極性、コミュニケーション能力等とあわせて総合的に評価します。

実践教育経験枠：自己推薦書の内容を中心に質問を行います。実践教育の経験を発展的な取り組みにつなぐ意欲を把握し、基礎学力、勉学への積極性、コミュニケーション能力等とあわせて総合的に評価します。

【選抜日程】

試験日	時間	試験科目等
令和6年11月9日（土）	10：00～11：30	課題論文
	13：00～17：00 終了予定	面接

すべての学類について、試験場は福島大学（福島市金谷川1番地）となります。

本要項末の福島大学案内図を参照してください。試験室および控室等については、試験当日、受験に関する掲示板に掲示します。

Ⅶ. 合格者発表

人間発達文化学類	令和6年11月28日(木)	午前11時
行政政策学類 夜間主	令和6年12月5日(木)	午前11時
経済経営学類	令和7年2月6日(木)	午前11時
共生システム理工学類	令和6年11月1日(金)	午前11時
食農学類	令和6年11月14日(木)	午前11時

合格者の発表は本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に受験番号を掲載します。合格者には「合格通知書」および入学に必要な手続等を記載した「入学手続の手引き」を郵送します。

電話等による可否の問い合わせには応じません。

Ⅷ. 入学手続

1. 入学手続について

合格者は、下記期間に郵送により入学手続を完了してください。詳細は、合格者に送付する「入学手続の手引き」を確認してください。

令和6年12月13日(金)～20日(金) 午後4時必着

(経済経営学類のみ 令和7年2月11日(火・祝)～18日(火) 午後4時必着)

(注) 1. 指定期日までに入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を失います。

2. 入学手続が完了した後は、他の国公立大学(※独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除く)を受験しても合格者となりません。

※公立大学協会のウェブサイト(<https://www.kodaikyo.org/>)参照

2. 入学辞退者の取扱い

原則として、総合型選抜に合格した者は入学を辞退することは認められません。ただし、特別な事情により入学を辞退する場合には、事前に本学入試課までに電話で連絡し、令和6年12月20日(金)午後5時まで(経済経営学類のみ令和7年2月18日(火)まで)に「入学辞退願」(様式は任意)を提出してください。

3. 入学時の大学への納入金

入学料(予定額)	人間発達文化学類 経済経営学類 共生システム理工学類 食農学類	行政政策学類 夜間主
	282,000円	141,000円

(注) 1. 上記の入学料は予定額です。入学料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

2. 入学手続完了後に、入学を辞退した場合(留年等により入学資格を満たせなくなった場合を含む)は、入学料の返還はできません。

(参考) 1. 授業料について

授業料は、入学後に口座引落により納入していただきますので、入学時に納入する必要はありません。

ません。なお、授業料の金額（予定額）は次表のとおりです。授業料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

授業料（予定額）	人間発達文化学類 経済経営学類 共生システム理工学類 食農学類	行政政策学類 夜間主
	前期分 267,900円	前期分 133,950円
	後期分 267,900円	後期分 133,950円
	合計（年額） 535,800円	合計（年額） 267,900円

2. 諸会費について

入学時に必要となる入学料以外の諸会費（「学生会」「後援会」「同窓会」「校友会」の会費等）については「入学手続の手引き」送付の際にお知らせします。

4. 入学料・授業料の減免について

非課税世帯およびそれに準ずる世帯の方等は、日本学生支援機構給付奨学金（高等教育の修学支援新制度）によって、家計の所得に応じた支援区分で入学料、授業料が減免されます。また、支援区分ごとの奨学金が毎月給付されます。

その他、激甚災害に遭われた方で、修学支援新制度の対象とならない方には、家計を確認したうえで入学料、授業料が減免される本学独自の制度があります。

IX. 不正行為の禁止について

(1) 不正行為に該当する行為および罰則について

試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用する等の行為は、不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、不正行為については、警察に被害届を提出する場合があります。

(2) 試験時間中に使用できないもの

試験時間中に、次のものを使用してはいけません。

① 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、イヤホン（補聴器等の管理医療機器除く）、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類

※携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。

※試験時間中、病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。

② 下敷、コンパス、定規等の補助具

※これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとは不正行為となることがあります。

X. 入試情報の公開（開示）について

1. 試験問題等の公開について

人間発達文化学類の小論文および食農学類の課題論文については、問題および出題意図を、共生システム理工学類の模擬授業・課題レポートについては、テーマと概要を合格者発表後に公開します。

2. 入学試験個人成績等の開示について

入学試験個人成績，出願書類として提出された調査書を本学の定める方法により開示します。

- ① 開示期間 令和7年5月7日（水）～5月30日（金）
- ② 開示方法 令和7年4月上旬，本学ウェブサイトに掲載します。
<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/kaizi.html>

③ 開示内容

ア．個人成績について

人間発達文化学類	芸術・表現コース	小論文，面接，実技検査の成績
	スポーツ健康科学コース	第1次選抜：自己推薦書，実技実績調査書の総合点 第2次選抜：小論文，面接，実技実績調査書の成績
行政政策学類 夜間主		口頭試問の成績
経済経営学類		書類審査，集団討論，面接試験の成績の総合点
食農学類		課題論文および面接の成績

イ．調査書については、「指導上参考となる諸事項」，「総合的な探究の時間の内容・評価」および「備考」欄の記載事項以外の部分の複写物（高校在学時に交付される通知表と同等のもの）

XI. 入学志願者の個人情報保護について

本学では，提出された出願書類や入学試験により個人情報を取得します。取得した個人情報は，「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」および「国立大学法人福島大学個人情報保護管理規則」に基づき，下記の目的でのみ利用し，その保護に努めます。

- 入学者選抜に関する業務（統計処理等の付随する業務を含む）に利用します。
- 入学手続に関する業務に利用します。
- 入学手続完了者にあつては，入学後の修学指導業務および学生支援業務，授業料徴収業務，入学者の教育方法の改善に利用します。また，入学料免除，授業料免除および各種奨学金申請（応募）者にあつては，入学試験の成績等を当該免除者または奨学金貸与者の選考判定等に利用する場合があります。

なお，総合型選抜の入学志願者にあつては，大学入学共通テストの成績を取得する目的で，独立行政法人大学入試センター（以下，「大学入試センター」といいます）へ，総合型選抜の合格者にあつては，国公立大学の分離分割方式による合格および追加合格決定業務を円滑に行うため，大学入試センターおよび併願先の国公立大学に個人情報の一部が送達されます。

また，出願手続に関する業務を円滑に進めるため，業務の一部を外部に委託しています。委託先に対して，必要な個人情報を提供しますが，委託先との間で適切な取り扱いに関する契約の締結をはじめ，適切な監督を行います。

Ⅷ. 東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について

本学では、東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故、および平成23年度以降において豪雨災害等の激甚災害で被災された方の経済的負担を軽減し、被災受験者の進学機会の確保を図るために、令和6年度に行われる全ての入試において、検定料免除の特別措置を以下のとおり行います。

(1) 対象者

出願期間終了までに、次のいずれかに該当すると認められた本学入学志願者については、検定料を全額免除します。

- ① 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方、または平成23年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で、本人または主たる家計支持者が居住していた家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失の罹災と認定された方
 - ② 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方、または平成23年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で、主たる家計支持者が死亡または行方不明となった方
 - ③ 東京電力福島第一原子力発電所事故を受けて設定された「警戒区域」、「計画的避難区域」、「緊急時避難準備区域」、「特定避難勧奨地点」に平成23年3月11日時点で本人または主たる家計支持者が居住していた方で、これに伴い避難を余儀なくされた方
- 上記免除対象者の詳細については以下の表をご確認ください。

区 分	検定料免除の可否（可は○、否は×で示しています）				
	全 壊	大規模半壊	半 壊	流 失	一部損壊
①家屋の全・半壊	○				×
②主たる家計支持者が死亡または行方不明	主たる家計支持者 ○				主たる家計支持者以外 ×
③原発事故による影響	警戒区域	計画的避難区域	緊急時避難準備区域	特定避難勧奨地点	それ以外の地域
	○				×

注：区域については、再編前の区域としています。

(2) 必要書類

検定料免除を申請するにあたって必要な書類は以下のとおりです。

- ① 検定料免除申請書（本学所定の様式）
本学ウェブサイト「入試情報—募集要項」（<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>）参照
- ② 次に挙げる証明書のいずれか1つの写し
上記（1）①に該当する場合、「市町村長が発行する罹災証明書」
上記（1）②に該当する場合、「主たる家計支持者の死亡または行方不明を確認できる書類」
上記（1）③に該当する場合、「避難している（いた）ことが確認できる書類」（自己申立書でも可）

(3) 必要書類の提出方法と提出期間

出願時に書類と合わせて提出してください。

検定料免除申請を行う場合は、出願時に検定料を払い込まないでください。

※出願期間後の申請は認められませんので、ご注意ください。

※諸事情により出願時に(2)②の証明書等を提出できない場合は、事前に本学入試課までお問い合わせください。

福島大学案内図

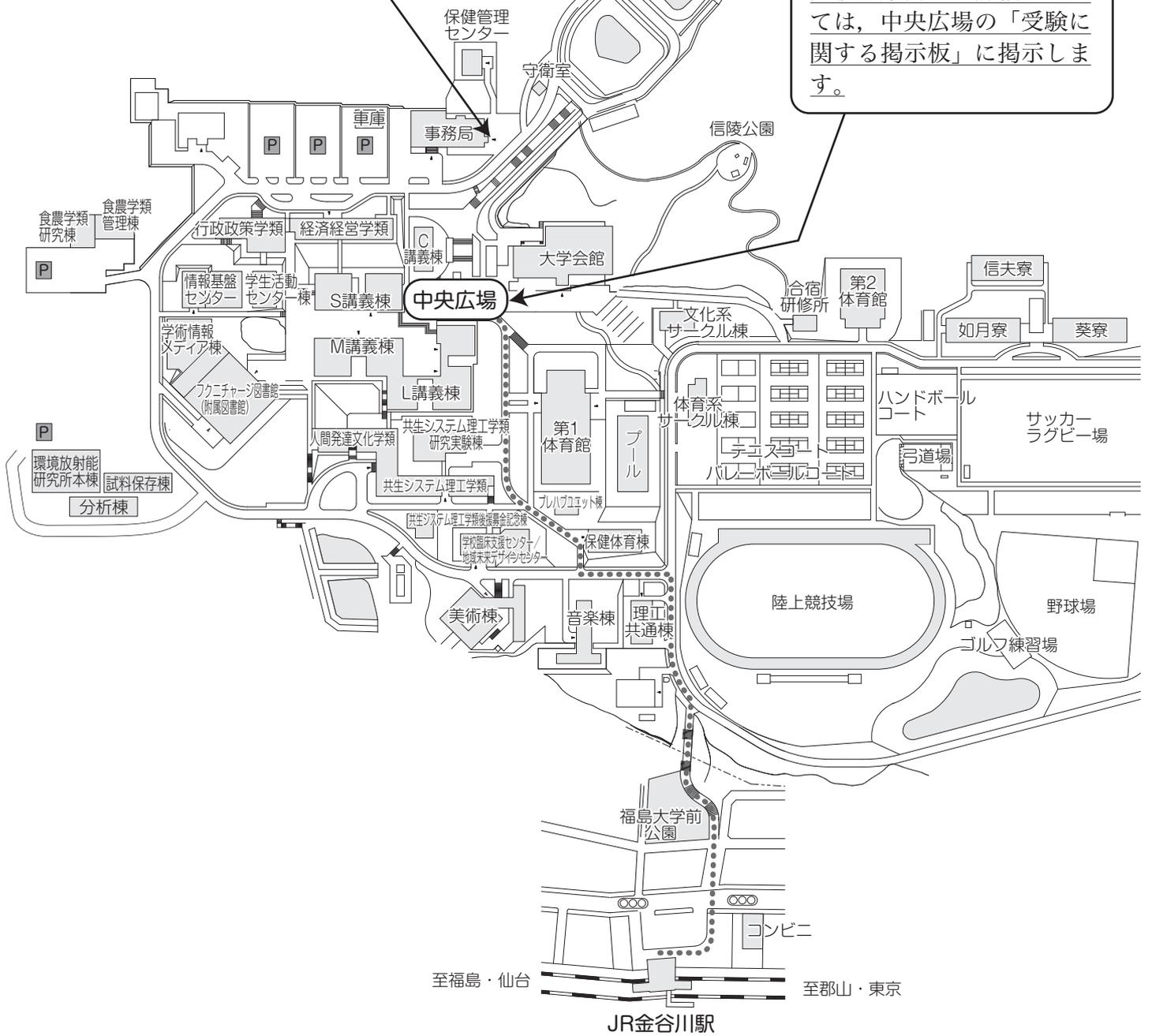


県道 福島・安達線 (旧国道4号)
至福島 至松川町

入試課 (1F)

受験に関する掲示板

試験室案内など詳細については、中央広場の「受験に関する掲示板」に掲示します。



至福島・仙台

至郡山・東京

JR金谷川駅

JR東北本線金谷川駅下車
中央広場まで徒歩約10分



国立大学法人

福島大学

Fukushima University